2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算補足資料

自 2025年4月1日 至2025年9月30日

2025年11月12日 証券コード:4093



Table of Contents

- 01- 連結決算業績
- 02- セグメント別業績
- 03- 連結貸借対照表
- 04- 連結キャッシュ・フロー
- 05- 配当金及び配当性向
- 06- 通期の連結業績予想

01 連結決算業績

▶ エスプーマ関連・自動車機器関連・製氷機関連事業は堅調に推移しましたが、ガス関連及び器具器材関連事業の需要が減少したことから減収となりました。
利益面では、人件費、物流費などのコスト上昇の影響もあり減益となりました。

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年 同中間期比	増減率
売上高	16,313	15,980	△332	-2.0%
売上総利益	5,398	5,325	△72	-1.4%
売上総利益率	33.1%	33.3%	0.2%	
営業利益	931	678	△252	-27.1%
営業利益率	5.7%	4.2%	-1.5%	
経常利益	1,077	785	△292	-27.1%
経常利益率	6.6%	4.9%	-1.7%	_
親会社株主に帰属する 中間純利益	621	440	△181	-29.2%

01 連結決算業績

売上高

前年同中間期比

2.0%減

332 百万円

売上高は159億80百万円と前年 同中間期に比べ3億32百万円 (2.0%)の減少となりました 営業利益

前年同中間期比

27.1%減

252 百万円 >

営業利益は6億78百万円と前年 同中間期に比べ2億52百万円 (27.1%)の減少となりました

経常利益

前年同中間期比

27.1%減

292 百万円

経常利益は7億85百万円と前年 同中間期に比べ2億92百万円 (27.1%)の減少となりました 親会社株主に帰属する中間純利益

前年同中間期比

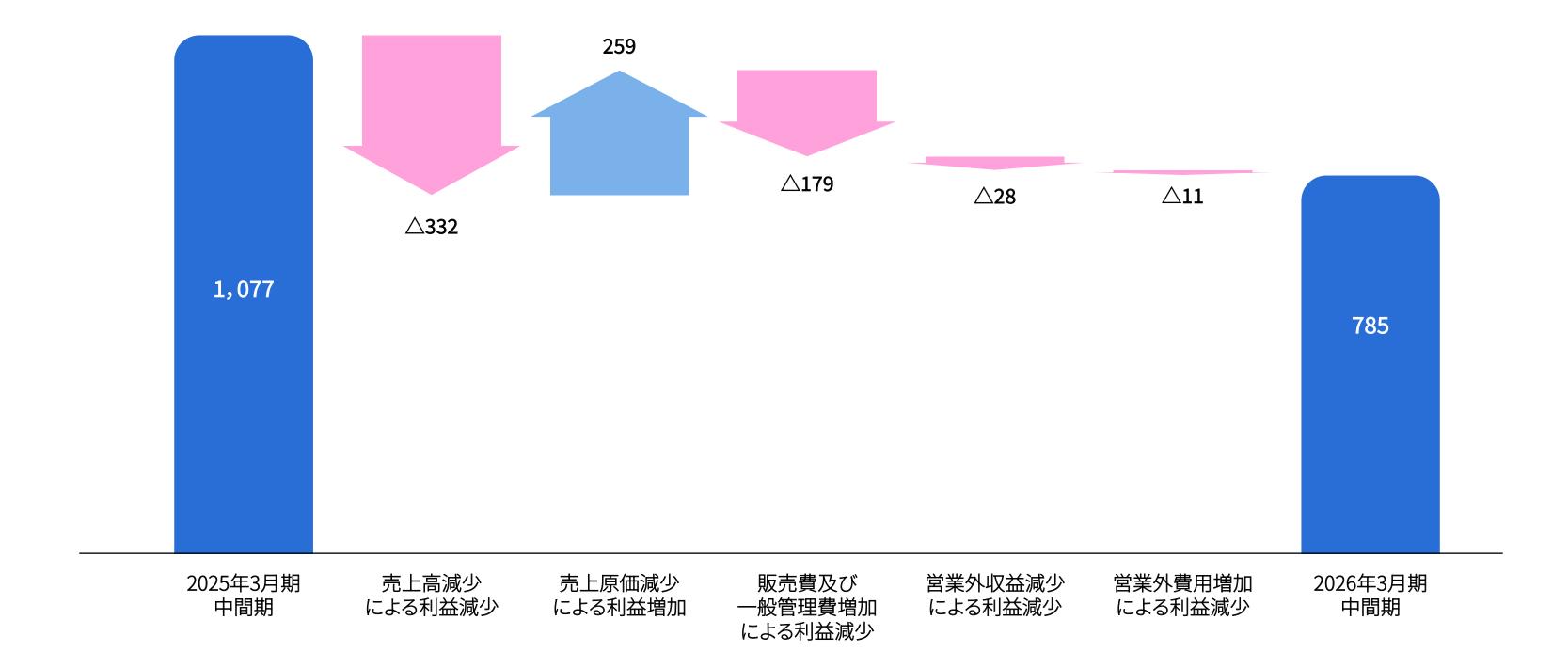
29.2%減

181 百万円 >

親会社株主に帰属する中間純 利益は4億40百万円と前年 同中間期に比べ1億81百万円 (29.2%)の減少となりました

01 連結決算業績

経常利益 (百万円)



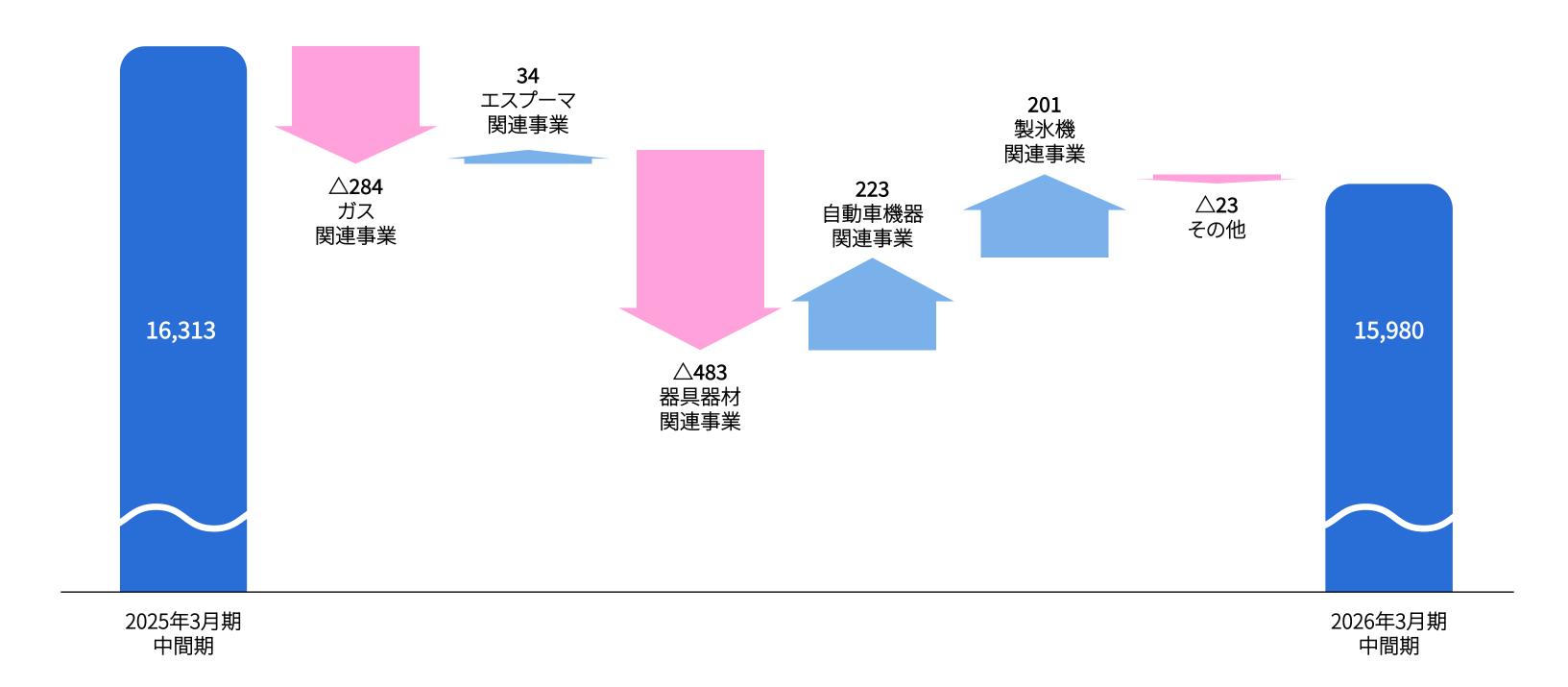
(百万円)

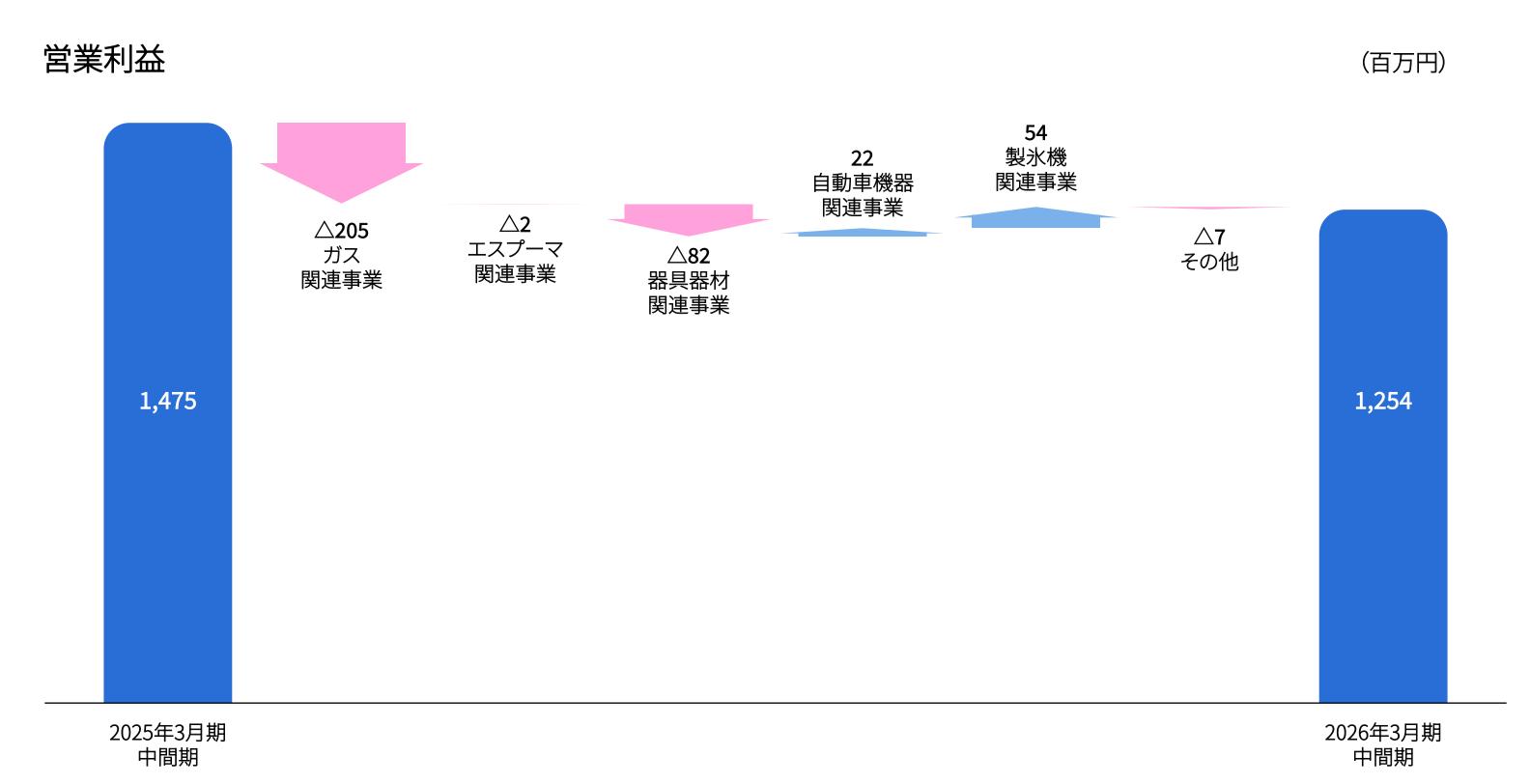
		2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年 同中間期比	増減率	主な取り扱い製品
ガス関連事業	売上高	9,347	9,062	△284	-3.0%	酸素、窒素、アルゴン、
ガス民任事未	セグメント利益	890	685	△205	-23.1%	液化石油ガス
エスプーマ関連事業	売上高	892	926	34	3.8%	食品用ガス、食品関連器材
エスノーマ民任事未	セグメント利益	276	274	△2	-0.8%	及の用ガス、及の例と紹介
器具器材関連事業	売上高	4,957	4,473	△483	-9.8%	溶接材料、溶接切断器具、
谷只	セグメント利益	187	105	△82	-44.0%	生活関連器具
自動車機器関連事業	売上高	441	664	223	50.6%	自動車部品メーカーの
日男牛戍岙民廷尹未	セグメント利益	1	23	22	_	設備投資
製氷機関連事業	売上高	522	723	201	38.6%	製氷•冷凍機械 等
发小 放闵连争未	セグメント利益	88	142	54	61.5%	表小*/P/宋傚伽 · 专
その他	売上高	152	128	△23	-15.6%	医療機器 等
ての他	セグメント利益	31	24	△7	-24.0%	区/ 依依
合計	売上高	16,313	15,980	△332	-2.0%	
	セグメント利益	1,475	1,254	△221	-15.0%	
調整額※		△544	△575	△31	5.7%	
営業利益		931	678	△252	-27.1%	

[※]調整額は全て全社費用です。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

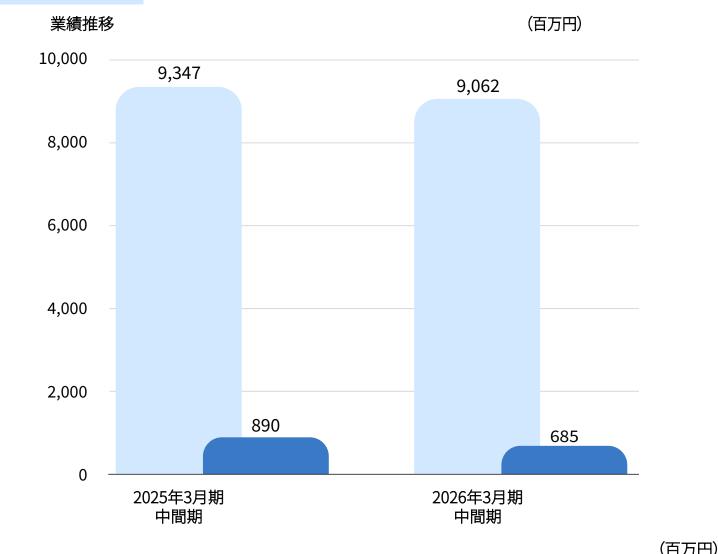
売上高 (百万円)







ガス関連事業

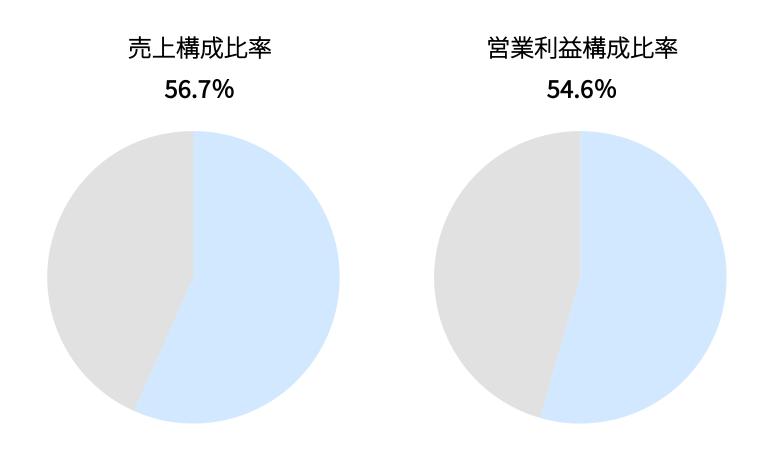


					(H)31 3/
		2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年 同中間期比	増減率
ガス	売上高	9,347	9,062	△284	-3.0%
関連事業	セグメント 利益	890	685	△205	-23.1%

概況

石油類は工業用向けに需要が増加しましたが、酸素及び窒素は工業用向けの出荷数量が減少、液化石油ガスは工業用向けの出荷数量が減少したことに加え、輸入価格の変動に伴い販売価格が下落したことから、売上高は減少しました。

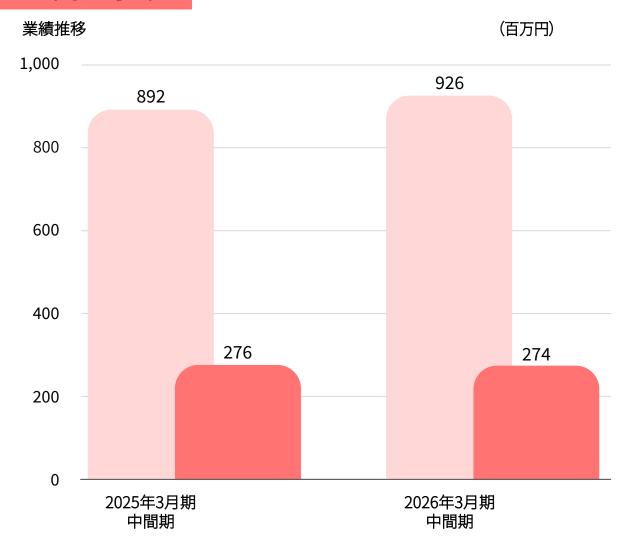
利益面におきましては、売上高減少に加え、給料、運搬費等の販売費及び一般管理費が増加したことにより営業利益は減少しました。







エスプーマ関連事業



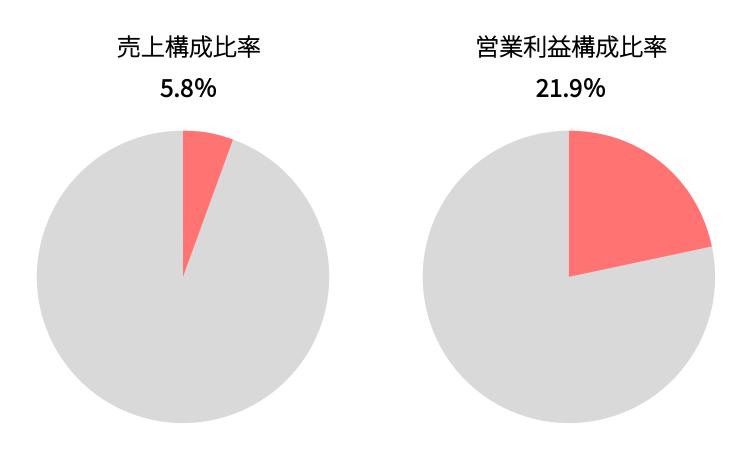
					ער ורגש)
		2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年 同中間期比	増減率
エスプーマ	売上高	892	926	34	3.8%
関連事業	セグメント 利益	276	274	△2	-0.8%

概況

(百万円)

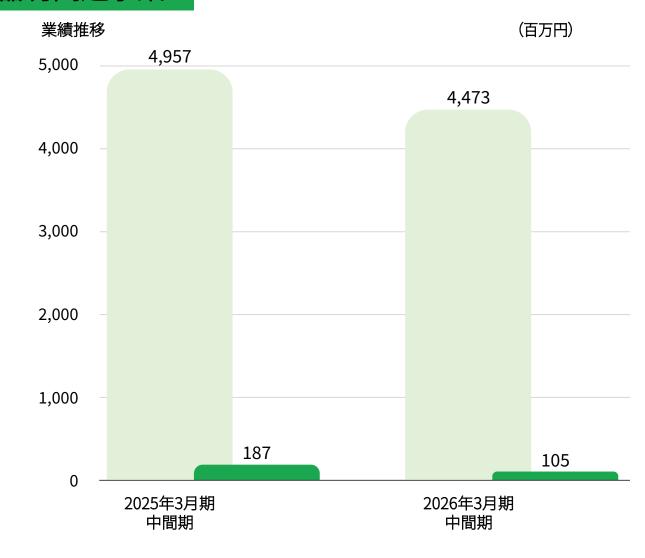
食品用ガスが堅調に推移したことに加え、食品関連器材の需要が増加したことにより売上高は増加しました。

営業利益は、食品用ガス容器の購入に加え、運搬費等の販売費及び一般管理費が増加したことにより減少しました。





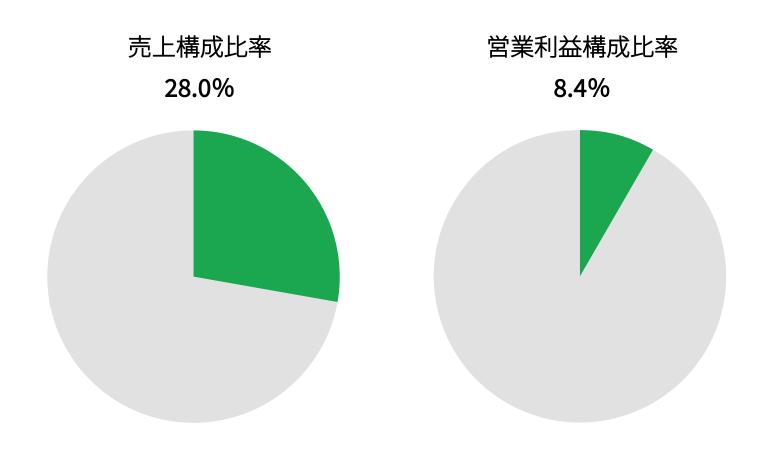
器具器材関連事業



(百万円) 2025年3月期 2026年3月期 前年 増減率 同中間期比 中間期 中間期 売上高 4,957 4,473 △483 -9.8% 器具器材 関連事業 セグメント 187 △82 -44.0% 105

概況

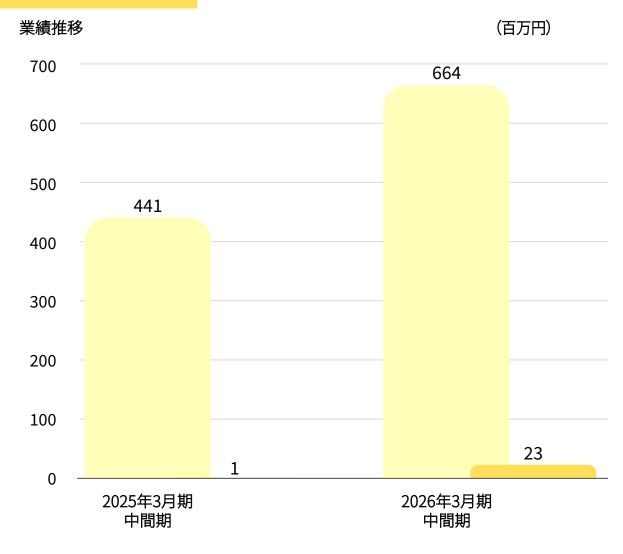
溶接材料は自動車関連及び鉄鋼向けに減少、溶接切断器具は大型機械の受 注が減少したことにより売上高及び営業利益は減少しました。



11



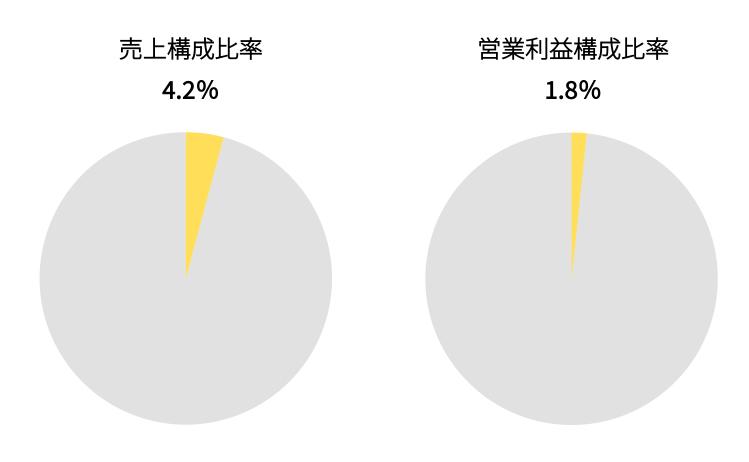
自動車機器関連事業



(百万円) 2025年3月期 前年 増減率 同中間期比 中間期 売上高 441 664 223 50.6% 自動車機器 関連事業 セグメント 23 22 1 利益

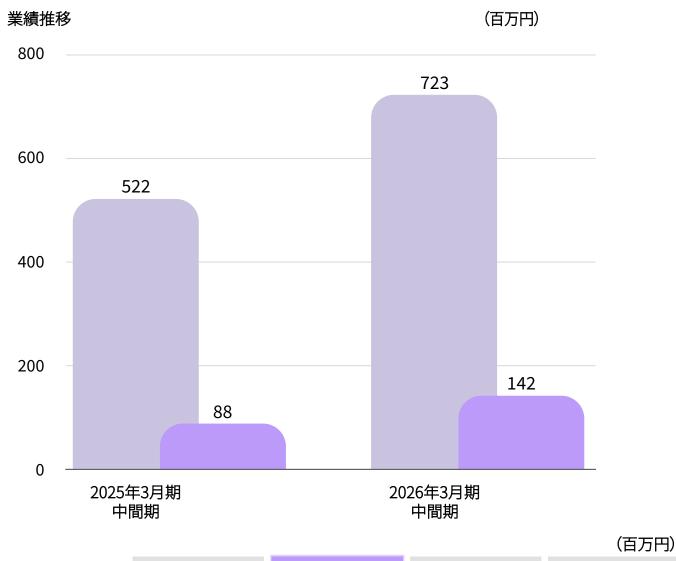
概況

自動車部品メーカーの国内外の設備投資需要が増加したことにより、売上高及び営業利益は増加しました。





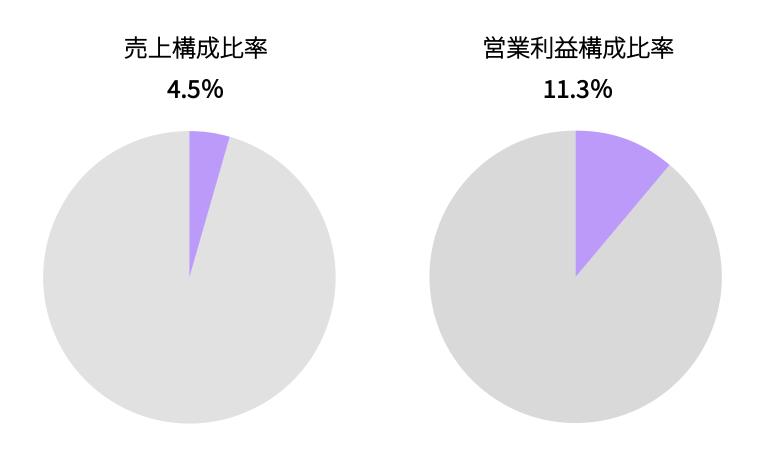
製氷機関連事業



2025年3月期 2026年3月期 前年 増減率 同中間期比 中間期 中間期 売上高 522 723 201 38.6% 製氷機 関連事業 セグメント 88 142 54 61.5%

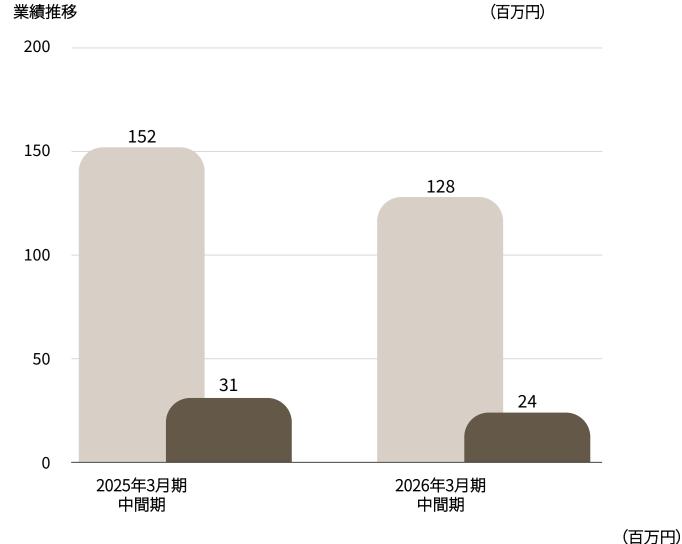
概況

製氷・冷凍機械の大型物件及びメンテナンス工事が増加したことにより売上高及び営業利益は増加しました。





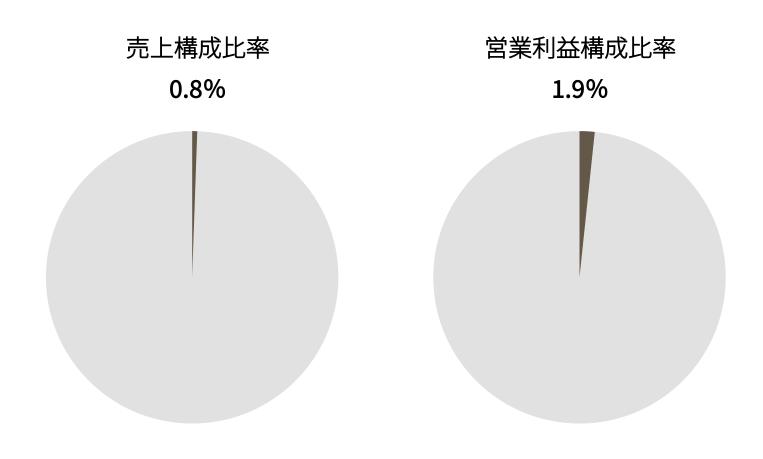
その他



		2025年3月期中間期	2026年3月期 中間期	前年 同中間期比	増減率
その他	売上高	152	128	△23	-15.6%
ての個	セグメント 利益	31	24	△7	-24.0%

概況

医療用ガス配管工事が減少したことにより、売上高及び営業利益は減少しました。



03 連結貸借対照表

(百万円)

		2025年3月期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率
流動資産	現金及び預金	9,495	8,584	△910	-9.6%
川刬貝庄	その他流動資産	9,994	9,410	△583	-5.8%
有刑	沙固定資産	10,865	11,617	752	6.9%
無开	沙固定資産	106	130	23	22.2%
投資	資その他の資産	3,180	3,214	33	1.1%
	資産合計	33,642	32,957	△684	-2.0%

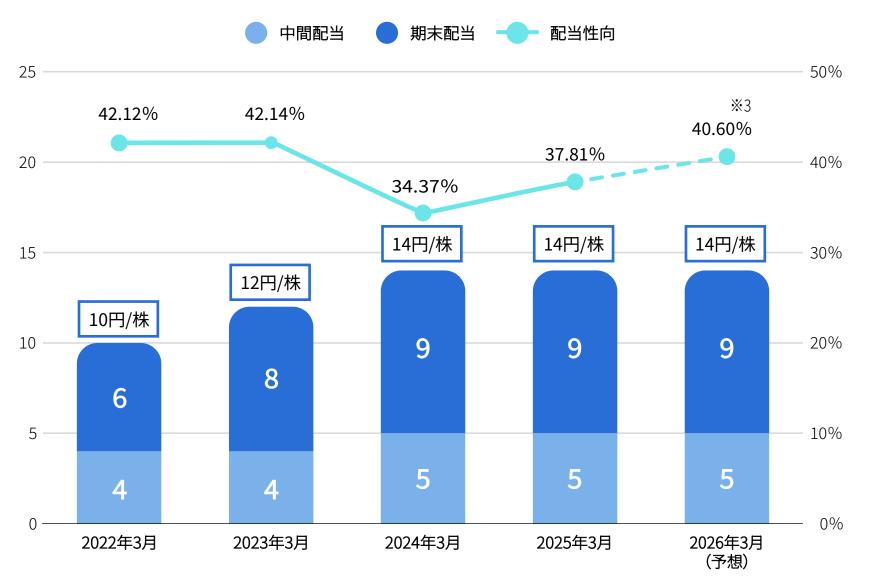
		2025年3月期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率
負債	長短借入金	3,348	3,417	69	2.1%
只识	その他の負債	9,901	9,002	898	9.1%
始 次立	自己資本	18,304	18,448	143	0.8%
純資産	非支配株主持分	2,088	2,089	1	0.1%
	負債純資産合計	33,642	32,957	△684	-2.0%

04 連結キャッシュ・フロー

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年 同中間期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,176	737	△438
投資活動によるキャッシュ・フロー	△409	△1,312	△902
財務活動によるキャッシュ・フロー	△464	△336	128
現金及び現金同等物の増減額	302	△910	△1,213
現金及び現金同等物の期首残高	8,987	9,495	507
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,290	8,584	△705

05 配当金及び配当性向

▶ 当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要政策の一つとして位置づけており、当社を取り巻く環境の変化、 業績及び財務状況を総合的に勘案して、配当政策を決定することを基本方針としております。





- ※1 当社は2024年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。 2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し年間配当金額を記載しております。
- ※2 配当性向につきましては、連結決算の数値を基に算出しております。
- ※3 現時点で連結決算開示している数値を基に算出しております。

06 通期の連結業績予想

- ▶ 資源エネルギー価格や物流費の高騰、モノや労働力不足における物価上昇、米国の関税引き上げによる事業への 影響などもあり、今後も先行き不透明な状態が続くと思われます。
- ▶ このような状況下、2026年3月期の通期業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	前期比	増減率
売上高	34,804	35,000	195	0.6%
営業利益	1,914	1,900	△14	-0.8%
経常利益	2,170	2,000	△170	-7.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,287	1,200	△87	-6.8%
一株当たり 当期純利益	37.03円	34.51円	△2.52円	-6.8%



〔将来の見通しに関する注意事項〕

本資料における当社の今後の計画や見通しは、当社が開示時点で合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績は計画と異なる可能性があります。